



新井 一 学長

学生の「やりたい」を叶えるさまざまな仕組み
真の医療人・健康のプロを育てる

順天堂大学の3つの柱

2020年9月、旧順天堂醫院を再現したA棟のファサードが完成した。180年以上もの伝統を受け継ぎつつ、6学部3研究科6附属病院に発展を遂げている同大。緑豊かな外堀通りの街路樹に映える白壁のその建物は、「国際性豊かな教育」「最先端の研究」「圧倒的な臨床力」の3つの柱を軸に、さらに新しい時代に求められる発展的な技術・人材を生み出す新たな決意を表している。

教員が学生に継承する「仁」の心

創立182年を迎えた順天堂大学の歴史は、江戸時代後期に設立された日本最古のオランダ医学塾に端を発する。創立以来、医療・健康分野に優秀な人材を多く輩出している同大の最大の特徴は、全人教育にある。“人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心”を表す「仁」を学是とし、現状に満足せず高い目標を目指して努力を続ける「不断前進」の理念のもと、常に相手の立場に立って物事を考え、行動できる人材を育成してきた。「仁の心は一朝一夕に身につくものではありませんので、まずは教員みずから『仁』の精神を実践し、学生に感じてもらうことから始めています。我が校では少人数での授業や担任制を導入しており、教員と学生の距離が非常に近いのが特徴

です。勉強のことだけでなく、学生生活、進路、趣味の話まで教員に話せる環境がある。そうした密なコミュニケーションによって、学生は社会で真に役立つ『仁』の心を踏まえた人との接し方を学んでいくのです」(新井 一学長)

一方で同大は、最先端の医療・健康を学ぶための体制や設備面でも継続的な改革を続けている。創立175周年記念事業として取り組んでいる「キャンパス・ホスピタル再編事業」では、本郷・お茶の水キャンパスの新築・改築工事を推進。特定機能病院として日本初となるJCI認証^{※1}や、LEED 認証^{※2}を得る快挙を成し遂げた。なかでも明治時代の同大の象徴であったファサードを再現したA棟(右写真)では、そのクラシカルな外観とは対照的に、内部ではこれからの医療を革新的に飛躍させるであろう先端の研究

を行っている。新ファサードは、歴史と伝統を継承しながらたゆまぬ前進と改革を続ける順天堂大学の象徴ともいえる。

※1 順天堂医院が取得。国際基準の医療の質と患者安全を担保した医療施設であることの認定。

※2 順天堂医院B棟がゴールド認証を取得。環境と人々の健康に配慮した世界基準のエコホスピタルであるという評価。

連携する学部の学びから医療・健康のプロを育てる

同大では国際的な視点で世界で活躍できる教養人を育てる「国際教養学部」と、診療放射線技師と理学療法士を育成する「保健医療学部」を近年創設。医療を軸に、人々の健康を包括的にサポートする国際



医療を軸に相互に支え合う 6学部3研究科6附属病院体制

- 1 順天堂医院(特定機能病院)
- 2 静岡病院
- 3 浦安病院
- 4 順天堂越谷病院
- 5 順天堂東京江東高齢者医療センター
- 6 練馬病院



三島キャンパス
保健看護学部



本郷・お茶の水
キャンパス
医学部・国際教養学部・
保健医療学部
大学院医学研究科



さくらキャンパス
スポーツ健康科学部
大学院スポーツ健康科学研究科

浦安キャンパス
医療看護学部
大学院医療看護学研究科

的な健康総合大学へと発展を遂げている。

また、医科大学の多くが講座制での研究体制を採用するなか、同大では昭和40年代から講座を横断する中央共同研究体制を確立。基礎・臨床の垣根を越え、必要な機器を共同で利用し、連携しながら研究のレベルアップを図っている。

こうした取り組みの推進は、医療の現場では連携が不可欠であることに起因する。医師、看護師、技師がチームとなって治療にあたる、医師とスポーツの指導者が意見を出し合って予防医学を実践する、基礎研究を臨床の場で生かし、その結果をまた研究に生かすといった、医療・医学に必要な連携が身につく環境が整えられているのだ。

「3400床以上を有する6附属病院による、圧倒的な臨床力を自負しています。先端医療、地域医療、高齢者医療、難病医療、ドクターヘリ導入の救急医療など、幅広い分野での知見が学び・研究の場に活かされており、学生は目指す将来像に向かって選択できます。また、本学初の文系学部となる『国際教養学部』では医療・健康に関するリテラシーをもって国

際社会に貢献できる人材の育成も目指しています。WHOなどの国際機関で働く人材といえばイメージしやすいでしょう。卒業生は大学院医学研究科の公衆衛生学コースへの進学も可能で、遺伝カウンセラーやゲノム解析を担うバイオインフォマティシャンなど、医療・健康を側面からサポートする人材育成も視野に入れています。文系学部でありながら、医療・健康に寄与する国際人を育てるチャレンジングな学部です」(新井学長)

医学や健康も国際性が求められる時代。全学部でTOEFL[®]を継続的に受験させるなど、英語教育にも力を入れている。実習先として海外の病院とも積極的に提携しており、学生の選択幅は幅広い。

「学生にはやりたいことを実現するために、能動的に学んでもらいたい。教員にどんどん夢を話してほしい。我々にはその夢を叶えるために全力でサポートする覚悟があります」(新井学長)

社会のニーズに応える革新的な取り組み

健康社会の実現を目指す同大では、さまざまな革新的な取り組みも行っている。そのひとつが優れた技術やアイデアを持った企業・研究者を支援するオープンイノベーションプログラム「GAUDI」だ。外来延べ患者数年間300万人以上、入院延べ患者数年間100万人以上(2019年4月～2020年3月)という6附属病院の臨床力を活用し、企業などのアイデアが実用化されるまでを医師、研究者、シンクタンク、弁理士といった外部の専門家らと交えて全面サポート。技術を迅速に社会へ還元する仕組みを構築した画期的な試みだ。さらに医学とスポーツを融合した新しい学問領域「スポーツロジャー」では、超高齢化社会で重要となる生活習慣病や要介護の原因疾患の予防を目指した研究成果を世界に発信している。



「医学や健康で社会に貢献したいという学生がどんどん学び、挑戦できる仕組み作りをこれからも続けていきます。GAUDIなどのプログラムはもちろんのこと、学閥、性別、国籍にとらわれず、順天堂にとって良い教育者、良い研究者を積極的に採用しているのもそのため。手前味噌ですが、本学の卒業生は系列の病院に残ることが多く、それは学生からの評価だと考えています。“順天堂大学で学んでよかった”と誇りに思える環境作りをこれからも推進したいと考えています」(新井学長)


 問い合わせ先: 順天堂大学 総務部文書・広報課 pr@juntendo.ac.jp
 TEL: 03-5802-1006 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1



めくると
学長が語る
3つの柱

医学を原点に「仁」を未来へ

順天堂大学

180年の伝統を受け継ぎ
寄り添う人を育てる3つの柱

日本屈指の文教地区、東京 本郷・御茶ノ水。

この地で歴史を刻みながら

前進を続ける順天堂大学は、医療を軸に

3つの柱で人々の健康を支えるプロを育てている。

